

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 関市

自治体名：岐阜県関市

担当課名：関市教育委員会学校教育課

電話番号：0575-23-7719

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	472.33 km ²
人口	84,024 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	2,379 人
部活動数	78 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【関市の現状】

令和7年度末までに、市内全中学校の休日部活動を地域移行することを目標とし、部活動に代わる新たな活動の場として「関市地域クラブ登録制度」を立ち上げることとした。

令和5年4月には、教育委員会学校教育課を中心とした「関市部活動地域移行協議会」を立ち上げ、年4回の会議を実施する中で、学校部活動調査やスポーツ協会へのアンケート調査を実施し、部活動の現状と地域移行についての意見の集約を行った。同時に「関市地域クラブ活動推進会議」を開催し、現在活動している部活動、部活動育成会や総合型地域クラブの方々から広く意見を伺い、地域クラブ設置における課題の精選を行った。

令和6年4月から関市地域クラブ登録制度を開始した。部活動育成会を中心に15クラブの登録からスタートし、現在は23クラブ、12種類の登録があり、中学生404人の小学生48人、指導者162人 全614人が所属し、活動を行っている。

【関市地域クラブの課題】

①財源の確保

部活動に代わる活動の場として参加者の受益者負担を軽減し、経済的理由で諦めることなく参加できる体制を目指している。現在各クラブへは実証事業の交付金と市費を財源に指導者謝金を支給して支援をしている。また、本市では地域クラブコーディネーターを専属で任用しており、地域クラブ化の推進に多大な貢献をしている。

今後さらに移行を進めるためにはクラブへの経済支援やコーディネーターの雇用継続のため財源を確保する必要がある。

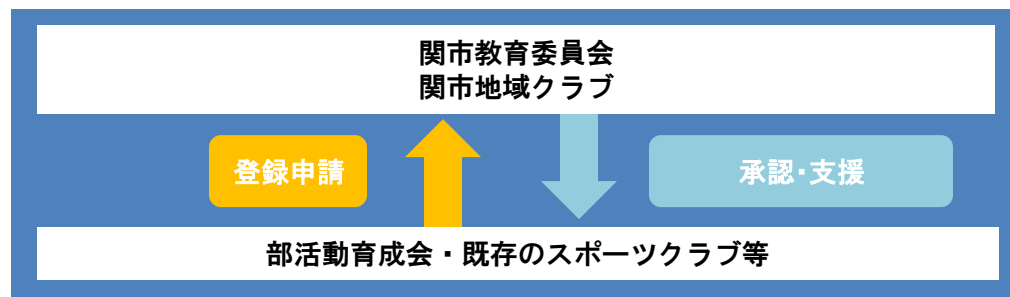
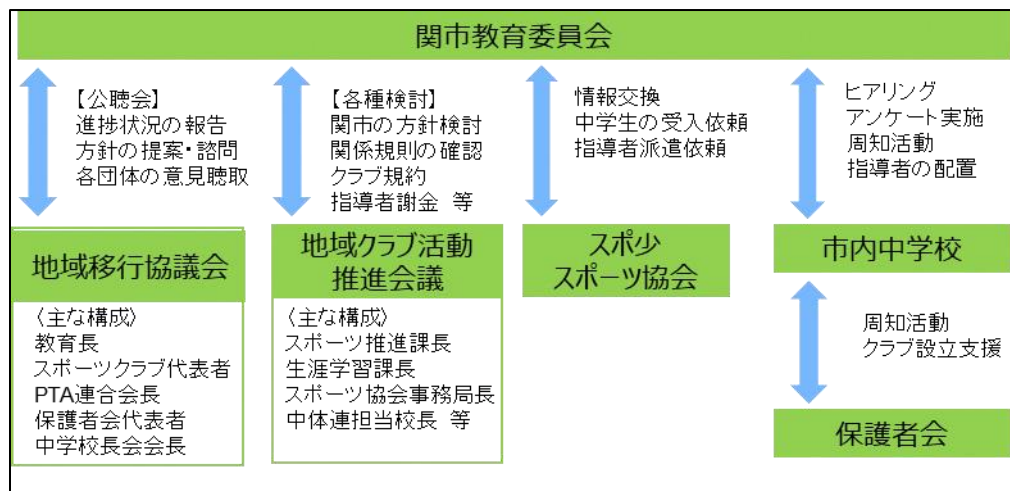
②登録種目の偏りと指導者不足

地域クラブの登録数は当初の想定よりも順調に増加している。しかし、指導者が見つからずクラブ登録がない種目があること、登録のある種目においても、保護者が中心となって運営をしているため専門的な技術指導者がいない、また指導者が少なく、生徒の増加に対応できないといった課題がある。生徒のニーズを満たすためにも専門的指導ができる人材を確保する必要がある。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・関市地域クラブ登録制度の運営・管理、地域移行協議会の開催（学校教育課）

◎首長部局

・地域移行協議会への出席（スポーツ推進課、文化課、生涯学習課）

年間の事業スケジュール

月	主な活動内容
4月	第1回関市地域クラブ協議会実施 地域クラブ指導者説明の実施（謝金関係）
5月	関市地域クラブ指導者養成講習会実施 中学校部活動人数調査の実施
6月	第2回関市地域クラブ協議会実施 市内各中学校長との情報交換
7月	次年度予算計画の作成 第1回関市地域クラブ活動推進会議の準備
8月	近隣市町村の状況調査
9月	第3回関市地域クラブ協議会実施 地域クラブ指導者説明会の実施（謝金関係）
10月	関市公式ホームページ内に地域クラブに関する情報を掲載
11月	第1回関市地域クラブ活動推進会議実施 関市地域クラブ運営組織設立に向けた準備
12月	関市地域クラブ連絡協議会準備委員会実施
1月	地域クラブ登録更新作業
2月	関市地域クラブ連絡協議会設立総会実施
3月	地域クラブ指導者説明の実施（謝金関係）
通年	関市地域クラブ登録管理、地域クラブ指導者活動月報管理、謝金支給の事務処理

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	22 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		20クラブ（34 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	0 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
緑ヶ丘中陸上クラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	陸上	月 2～3回	8:30～	中1 7人 中2 8人 中3 7人	4月～3月	市営グラウンド	2 人	2 人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
旭ヶ丘中陸上クラブ	同上	陸上	月 2～3回	8:30～	中1 4人 中2 7人 中3 6人	4月～3月	市営グラウンド	2 人	2 人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
桜ヶ丘中陸上クラブ	同上	陸上	月 2～3回	8:30～	中1 8人 中2 5人 中3 10人	4月～3月	市営グラウンド	2 人	2 人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
下有知中陸上クラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	陸上	月 2 ～ 3 回	8:30～	中1 0人 中2 6人 中3 4人	4月～3月	市営グラウンド	2 人	2 人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関ブルーネクス	同上	野球	土日どちらか 1 日	8:30～	中1 5人 中2 12人 中3 7人	4月～3月	中学校グラウンド	3 人	3 人	年会費 24,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
BC関	同上	野球	土曜日または日曜日	8:30～	中1 29人 中2 10人 中3 23人	4月～3月	中学校グラウンド 市内グラウンド	5 人	5 人	年会費 26,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
FC関	同上	サッカー	土日	9:00～ 12:00	中1 0人 中2 14人 中3 19人	4月～3月	中学校グラウンド 市内グラウンド	8 人	8 人	年会費 10,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
関ラグビースクール	同上	ラグビー	土日	9:00～ 12:00	中1 2人 中2 4人 中3 6人	4月～3月	市内グラウンド	10 人	10 人	年会費 15,000円	その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
キウイスポートクラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	ソフトテニス	水曜日 日曜日	水 19:30 ～ 日8:30 ～	中1 0人 中2 2人 中3 6人	4月～3月	市営テニスコート	2人	2人	年会費 18,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関ジュニアステップアカデミー	同上	硬式テニス	日曜日	8:30～	中1 2人 中2 5人 中3 0人	4月～3月	市営テニスコート	4人	4人	年会費 2,000円 1回500円	その他：地域クラブ
瀬尻バレーボールクラブ グリファニー	同上	バレーボール	金・日（隔週） 土曜日	18:30～	中1 2人 中2 7人 中3 0人	4月～3月	小学校体育館	3人	3人	入会費500円 1回100円	その他：地域クラブ
金龍会	同上	バレーボール	土曜日 木曜日（隔週）	土8:45～ 木19:00～	中1 10人 中2 5人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	4人	4人	月会費 2,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
津保川・富野バレーボールクラブ	同上	バレーボール	土日	9:00～	中1 7人 中2 2人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	4人	4人	年会費 4,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
武芸川VC	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	バレーボール	土日	9:00～	中1 6人 中2 1人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	月会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
小金田Jr	同上	バスケットボール	土日	9:00～	中1 6人 中2 13人 中3 5人	4月～3月	中学校体育館	2人	2人	月会費 1,000円 年会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関ジュニアバスケットボールクラブ	同上	バスケットボール	土日	8:30～	中1 5人 中2 1人 中3 3人	4月～3月	中学校体育館	5人	5人	月会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
緑ヶ丘バドミントンクラブ	同上	バドミントン	平日2回 休日1回	18:00～	中1 14人 中2 7人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	2人	2人	1回500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
富野卓球クラブ	同上	卓球	平日2回 休日1回	平日 16:00～ 休日 8:30～	中1 2人 中2 5人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	年会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
武芸川卓球クラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	卓球	平日2回 休日1回	19:00～	中1 6人 中2 1人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	月会費 2,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関東剣道クラブ	同上	剣道	土日どちらか1日	8:00～	中1 2人 中2 1人 中3 5人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	月会費500円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
関中央剣道クラブ	同上	剣道	土日どちらか1日	9:00～	中1 5人 中2 4人 中3 5人	4月～3月	中学校体育館	8人	8人	月会費500円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
関南剣道クラブ	同上	剣道	土日どちらか1日	9:00～	中1 1人 中2 5人 中3 6人	4月～3月	中学校体育館	5人	5人	年会費 6,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

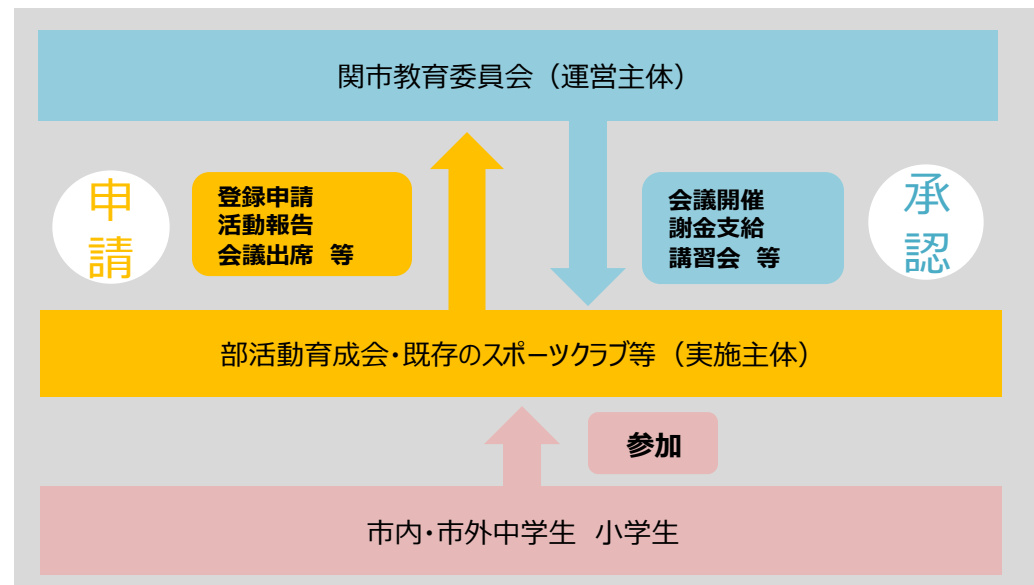
2.実証内容と成果

主な取組例

●関市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上、軟式野球、サッカー、ラグビー、ソフトテニス、硬式テニス、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、剣道
運営団体名	関市地域クラブ
期間と日数	4月1日～3月31日 月4～8回程度
指導者の主な属性	社会人、中学校教員
活動場所	中学校体育館・グラウンド 市営体育館・グラウンド 等
主な移動手段	保護者送迎、自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	4,000円～26,000円（種目による）
1人あたりの保険料	各種目ごとで加入

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：関市地域クラブ全体の運営、会議の開催、予算編成、執行

●指導者

役割：競技の技術指導、安全確認、保護者連絡等

●クラブ代表者・連絡責任者、会計

役割：会議出席、大会申込、情報伝達、会計 等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○地域クラブコーディネーターを配置し、各中学校、関係団体、市長部局との連絡調整、指導助言等を行う。

○本市の部活動地域移行に係る全体計画の作成を行う。

○地域移行に関する説明資料の作成、関係機関に対する説明を行う。

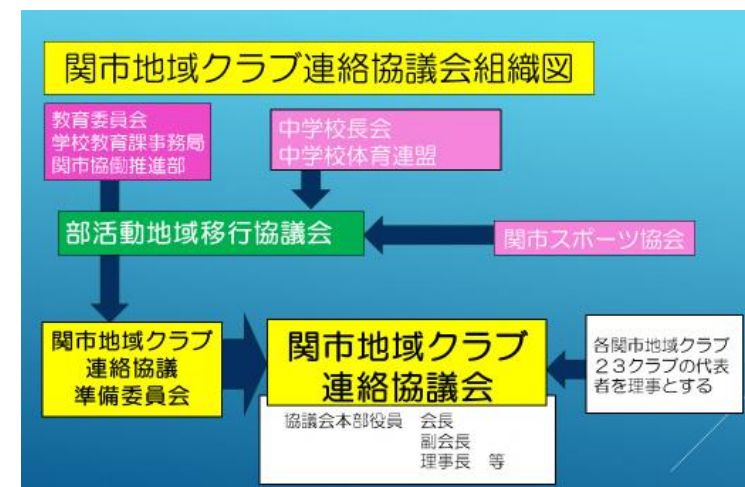
○関市地域クラブの運営全般に係る業務を行う。

取組の成果

○中学校部活動やスポーツ関係団体とのつながりの深い地域クラブコーディネーター（元小中学校教諭。退職後、市役所にてスポーツ少年団を管轄する業務を担当）を配置した。それにより関係機関とのスムーズな連携を図ることが可能となり、地域移行を前進させることに貢献している。

特に、地域移行後の運営組織の設立に向け各市長部局、スポーツ協会や地域クラブ指導者といった関係各所とのつながりを生かし、新組織「関市地域クラブ連絡協議会」の立ち上げを実現させた。（右図参照）

その他には教育委員会会議やスポーツ協会などが開催する各種会議に出席し、現在の取組や今後の方向性を説明し、本市の部活動地域移行の周知活動を行った。



コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・部活動地域移行全体計画の作成および会議、説明会の実施
- ・登録申請書、登録名簿等各種様式の作成
- ・関市地域クラブの登録受付、一覧作成、中学校への情報提供
- ・指導者との連絡調整、謝金支給に係る月報、残時間の管理

今後の課題と対応方針

- 今後、平日を含めた部活動の完全移行を目指している。完全移行後も学校との連携を維持していくため、学校と地域クラブを繋ぐ体制を構築していく必要があると考える。両者に精通したコーディネーターを継続して配置し、移行を円滑に進めたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

取組事項

【関市地域クラブ指導者養成講習会】

関市地域クラブは既存の中学校部活動育成会（保護者会）を母体として地域クラブ化したチームが多く、専門的な指導経験や知識を有しない保護者が役員として活動を見守ることがある。生徒が安心してクラブ活動に参加できる体制を整備するため、市独自の講習会を年間2回実施した。

指導者研修の内容

【対象】

- (1) 受講する者は、関市地域クラブに所属する者。
- (2) 将来関市地域クラブで指導者として活動を希望する者。
- (3) 18歳以上の者。（高校生の受講者はアシスタントコーチとする。ただし、アシスタントコーチのみでの指導は行えないものとする）

【内容】

- (1) 指導者としての心構え
・責任と役割 ・ガバナンスコードについて・ハラスメントの撲滅
- (2) 安全なスポーツ環境
・活動時の安全管理（危機管理・CPRの方法等）
- (3) 指導理論
・中学生期の指導の在り方 ・プレイヤーズセンタードのコーチング

【講師】

関市地域クラブコーディネーター

【受講料】

無料

指導者研修の参加実績

【第1回】

- ・開催日：令和6年5月19日
- ・参加人数：28人

【第2回】

- ・開催日：令和6年9月28日
- ・参加人数：28人

受講者の声

「成長期における身体の発達段階について詳しく知ることができました。練習の内容、回数、食事、休養など中学生の成長に合わせた活動を考えていきたいと思います。」

「事故やけがの予防、緊急事態が発生した時の対応など、安全確保に関する知識を学ぶことができました。体の接触が多い競技に関わっているのでAEDの実演はとても有難かったです。今回学んだことを日々の活動に生かして安全に活動ができるように努めていきたいです。」

取組の成果

講習の内容について受講者より高評価をいただいた。次年度以降も講習会を継続的に実施し、安心、安全なクラブ運営を支援していきたい。

今後の課題と対応方針

指導経験のない保護者の受講を想定した講習会のため、内容について時間、回数の負担を軽減を念頭に必要最低限とした。今後は受講者の声をもとに時間、回数等を再検討し、内容の充実を図っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

【指導者謝金支給事業】

今年度より、関市地域クラブ登録を開始したが、指導者の不在を課題とする団体も多くあり、設立を目指す育成会（保護者会）から謝金支給の支援を求める声があった。

そのため、指導者確保支援として実証事業を活用した指導者謝金支給事業を実施することとした。

自治体の役割

関市教育委員会学校教育課

- ・予算編成、執行
- ・謝金支給規定の作成
- ・登録申請書、登録名簿等各種様式の作成
- ・説明会の実施
- ・指導実績簿の受領、残時間の管理
- ・指導者との連絡調整

支給要件

【給付対象人数】

1クラブ最大3名までとする

【支給対象者条件】

- 1) 関市地域クラブに登録しているクラブの指導者で、教員免許状所有者、または関市地域クラブが定める指導者資格を有している者
- 2) 今年度、関市教育委員会が行う関市地域クラブ指導資格養成講習会に参加を予定している者（5月にある関市地域指導資格養成講習会に必ず出席し資格を取得することを条件）

【支給対象期間、指導時間等】

- 1) 当該年度の4月から1月末まで
- 2) 休日（土日、祝祭日）の活動を支給の対象とする。ただし、原則として土日のうちいずれか1日は休養日とすること。長期休業中も同様である
- 3) 1日の指導時間は原則3時間以内とすること
- 4) 大会引率等の場合は、1日の活動時間は8時間以内を原則とし、生徒の負担軽減に配慮する

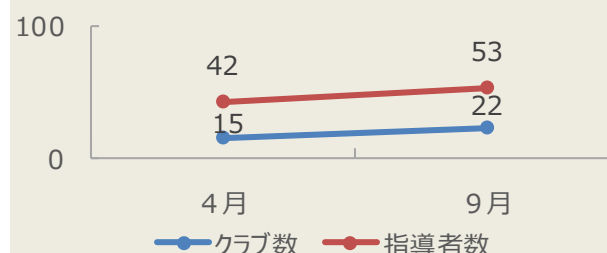
【給付金額】

1時間当たり1,000円、年間最大105時間とする

取組の成果

- ・謝金があることで指導者を依頼する際の心理的負担が軽減され、指導者を確保することができたという声があった。
- ・クラブ活動費の受益者負担を軽減し、クラブに参加する生徒の経済的支援にも繋がった。

登録クラブ数と謝金支給指導者の推移



今後の課題と対応方針

支給の条件を1クラブ3名を上限としたため、指導者が多いクラブでは、どの指導者を支給対象とするかを決めるのが難しいという意見があった。また、クラブ間で参加生徒数の差があるため、規模に応じた支援を検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

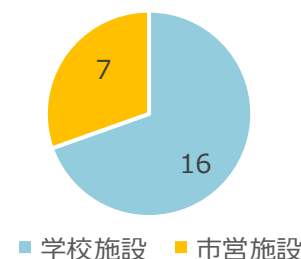
取組事項

関市地域クラブは既存の中学校部活動育成会（保護者会）を母体として地域クラブ化したチームが多く、地域クラブ移行後も学校施設での活動を想定している。そのため、関市地域クラブに登録のあるクラブについては、部活動と同様に学校施設を使用できるよう、教育委員会規則の改正および各施設の使用料減免措置に関する手続きを行った。

取組の成果

現在関市地域クラブに登録している全クラブが学校施設、または市有施設を利用している。学校施設の優先使用、使用料の減免といった措置を図ることによってこれまでの部活動と同様に低廉な参加費で活動できるように改正した。

各クラブの主な活動拠点



【学校施設使用種目】

バスケットボール、バレーボール、サッカー
卓球、剣道、バドミントン、野球

【市営施設使用種目】

硬式テニス、陸上
ソフトテニス、ラグビー

関市学校施設の開放に関する規則

改正後	改正前
（使用料の減免の額等） 第 12 条 前条第 2 項の規定により照明料を減免できる額は、次の各号に掲げる使用の区分に応じ、当該各号に定める額とする。 （1）市、教育委員会又は関市スポーツ少年団及び関市地域クラブが主催し、又は共催する事業等に使用するとき 照明料の全額	（使用料の減免の額等） 第 12 条 前条第 2 項の規定により照明料を減免できる額は、次の各号に掲げる使用の区分に応じ、当該各号に定める額とする。 （1）市、教育委員会又は関市スポーツ少年団が主催し、又は共催する事業等に使用するとき 照明料の全額

【教育委員会規則の改正】

今後の課題と対応方針

学校施設の開放については各学校が調整会議を開催し、使用を希望する各団体の調整を行っている。今後は地域クラブ優先使用を広く周知し、学校、各団体の理解を深め、円滑な調整が図られるようにしていく必要がある。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

昨年度から実証事業に取り組み、2年目となる今年度は、本格的に関市地域クラブ登録制度を開始した。地域クラブの運営団体として以下の事項について取り組んだ。

①地域クラブの登録、管理

- ・登録受付、データ入力、登録証の発行、加入状況の分析、クラブ紹介の作成、広報活動等

②指導者謝金の支給

- ・説明会の実施、月報の確認、上限時間管理

③指導者講習会の実施

- ・経験の乏しい指導者や保護者を主な対象として年2回実施

④協議会の開催、関市地域クラブ連絡協議会の立ち上げ

- ・移行後の自主的な運営を目的として各クラブ代表者からなる新たな組織を設立

本格移行初年度として順調にクラブ活動を展開することができた。次年度以降の安定的な運営に向けた課題の検証と移行が完了していない部活動への支援に取り組んでいきたい。

●成果の評価

今年度より関市地域クラブ登録制度を開始し、申し込み開始から約1か月で15クラブの申請があった。初年度として想定していた数を大きく上回っており、昨年度から進めてきた取り組みが順調に進んでいることを実感した。中体連大会後の8月には8クラブの登録があり、現在は12種目、23クラブが活動している。複数の中学校から集まって活動するクラブも多く、人数不足による活動の制限や、活動の選択肢が限られるといった学校部活動が抱えていた問題点が解消され、生徒がやりたいことに挑戦する機会を提供できたことは成果と言える。クラブの母体の多くは部活動育成会であり、部活動顧問の働きかけが必要不可欠であると考え、中学校と連携して取り組んだことによりクラブ化を前進させることができた。また、指導者講習会を実施することにより活動の質を向上させ、生徒にとって安心して参加できる環境を提供することができた。

●今後に向けて

今後は平日を含めた部活動の完全移行を目指しており、学校との繋がりが希薄になることが懸念されるため、連携体制の構築を課題として取り組む必要がある。また、地域クラブ活動の拡大に伴い、他市との連携した活動の必要性も考えられる。そのため、地域の実情をよく知り、学校や部活動の経験と関係各所に人脈を持つコーディネーターの果たす役割は大きく、今後さらに地域移行を進めるために継続して関わっていただきたいと考えている。現在は実証事業の交付金を活用しているが、継続雇用に向けた自主財源の確保も課題の一つである。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【実技指導】



【実技指導】



【大会出場】



【親睦会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

- ・先進的に取り組んでいる市町村、近隣市町村の訪問、情報収集。
- ・市内中学校の訪問、学校長と面談。部活動の状況や移行に向けた課題など情報を共有。
- ・県主催の推進会議に出席。先進事例の情報収集、課題の共有。
- ・収集した情報をもとに移行に向けたロードマップを作成。
- ・移行に向けた組織の立ち上げと会議の開催を計画。

令和5年

情報収集
方針の検討

出席者

教育長、スポーツ団体代表者、育成会代表者、PTA連合会長、中学校校長、関係部局課長、スポーツ協会事務局

実施回数

年2回（11・2月）

主な議題

地域移行の概要、経緯の説明。

今後クラブの実施主体となりうる関係者からクラブ化に必要な要件、指導者の確保、費用負担等課題等について意見を聴取。
6年度の登録制度開始に向けた方針の説明と協力を依頼。

- 4月：関市地域クラブ活動の開始
8種目、15クラブが登録
- 5月：指導者謝金支給開始
第1回指導者養成講習会実施
- 8月：中体連大会終了、3年生引退
新体制を機に8クラブが登録
種目数が12種目に増加
- 9月：指導者謝金追加申込受付
第2回指導者養成講習会実施

クラブ一覧を中学生に配布、関市HPにも掲載

令和6年

関市地域クラブ登録制
度の開始

出席者

関係部局課長、中学校校長、スポーツ協会事務局

実施回数

年4回（4・6・9・1月）

主な議題

先進事例、近隣市町村の情報共有。
休日部活動の地域移行について方針を検討。令和7年度末で活動を終了し、8年度から完全移行することを確認。令和6年度より地域クラブ登録制度を開始する方針を確認。
移行後の運営主体について検討。

1. 部活動育成会代表者への説明会

- ・地域クラブの主な実施主体として想定している部活動育成会の代表者を集めて1月に実施。
- ・部活動の抱える課題を説明し、地域移行の必要性について理解を求めた。
- ・次年度から開始を予定している地域クラブ登録制度を説明し、クラブ化の協力を依頼した。

2. 説明資料の作成・配布

- ・中学生、小学校5・6年生を対象に移行に関する広報資料を学校を通して配布した。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

